

にいがた交通戦略プラン

# 人と環境にやさしい 交通をめざして

本 編

にいがた交通戦略プラン策定協議会

## 目次

### はじめに

1. まちづくりとめざす都市のすがた	1
1 - 1. 都市づくりの考え方と目指す都市のすがた	1
1 - 2. まちづくりと都市交通のシナリオ	3
2. 戦略プランの方向性と基本方針	6
2 - 1. 交通施策の立案考え方	6
2 - 2. 交通戦略プランの基本方針	7
3. 基本計画	13
3 - 1. 施策の方向性と施策一覧	13
3 - 2. 多核連携型の都市構造を支える交通戦略	15
3 - 3. 地域の快適な暮らしを支える交通戦略	28
3 - 4. 市街地の賑わいと都市の活力を創出する交通戦略	32
3 - 5. 地域や関係者が一丸となって取り組む交通戦略	45
4. 重点プロジェクトの抽出	48
5. 重点プロジェクト	53
5 - 1. JR越後線の利便性と運行頻度向上に向けた取組み	53
5 - 2. 白根方面骨格幹線バス(国道8号)を主軸とするバス利用サービスの向上	62
5 - 3. 地域の特性に応じた生活交通の確保	79
5 - 4. 新潟駅を南北に結ぶ基幹公共交通軸の形成	102
5 - 5. 古町地区における道路の役割分担と道路空間の利活用	118
5 - 6. 万代地区の交通結節機能の強化と歩行者空間整備	130
5 - 7. モビリティマネジメントの推進	136
6. 成果目標	145
6 - 1. 成果目標の設定	145
6 - 2. 成果目標値	147
7. 戦略プランの進行管理・推進体制	157
事業の実施プログラム(案)	160

### 【附属資料】

# はじめに

## 戦略プランの目的・位置づけ

にいがた交通戦略プランは、本州日本海側初の政令市にふさわしい活力と魅力にあふれる多核連携型のまちづくりに向けて、第3回パーソントリップ調査で提言された将来交通計画の目標を実現するため、交通政策の基本理念と短・中期(概ね10年間)に取り組む基本的な行動計画を策定することを目的とします。

新潟市都市圏交通の目標(第3回パーソントリップ調査より)

1. 多様な都市活動や地域間の交流・連携に対応した  
移動しやすい交通体系
2. 信頼性・安全性・快適性・選択性を向上した  
災害に強く、質の高い交通体系
3. 都市の発展と環境との調和に向けた  
持続性を支える交通体系

## 戦略プラン策定の必要性

社会情勢の変化を見据え、新潟市が中枢拠点都市として一段と飛躍していくためには時代の要請を的確に把握し、将来への明確な展望のもとに関係者が互いに知恵を出し合い、協力・連携することが求められています。

社会情勢の変化

1. 高齢化の進展
2. 深刻化する環境問題
3. 厳しさを増す都市間競争
4. 政令指定都市への移行
5. 都市化社会(市街地の拡大)から都市型社会(成熟型社会)へ
6. 厳しさを増す行財政環境

## 戦略プラン策定後の進め方

この戦略プランを今後着実に進め目標を達成するには、この計画で提示した内容だけでなく、施策毎に関係者が連携し、社会情勢やニーズの変化に対応する柔軟な姿勢が必要と考えます。

そこで、行政・市民・交通事業者などが継続的にコミュニケーションを図り、それぞれの役割に立った意見を踏まえ、計画進捗状況の確認・評価・見直しを行いながら、目標に向かって施策を推進していきます。

